

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2020年9月11日、フリービット株式会社は2021年4月期第1四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (累計期間) 連結 (百万円)	20年4月期				21年4月期				21年4月期	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	進捗率	通期会予
売上高	13,387	27,095	40,061	55,295	13,417				24.8%	54,000
前年比	28.3%	26.0%	17.4%	9.8%	0.2%					7.2%
売上総利益	3,752	7,825	11,591	16,817	4,118					
前年比	33.3%	34.6%	19.9%	11.0%	9.7%					
売上総利益率	28.0%	28.9%	28.9%	30.4%	30.7%					
販管費	3,419	6,839	10,393	14,230	3,500					
前年比	41.7%	42.5%	29.3%	16.9%	2.4%					
売上高販管費比率	25.5%	25.2%	25.9%	25.7%	26.1%					
営業利益	333	986	1,199	2,588	617				32.5%	1,900
前年比	-17.0%	-2.6%	-26.4%	-13.2%	85.3%					-36.3%
営業利益率	2.5%	3.6%	3.0%	4.7%	4.6%					3.5%
経常利益	286	909	1,114	2,481	587				34.5%	1,700
前年比	66.1%	23.7%	-13.9%	-3.4%	105.1%					-33.8%
経常利益率	2.1%	3.4%	2.8%	4.5%	4.4%					3.1%
当期利益	-181	-182	-239	-619	219				-	-200
前年比	-	-	-	-	-					-
当期利益率	-	-	-	-	1.6%					-
四半期業績推移 連結 (百万円)	20年4月期				21年4月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	13,387	13,708	12,966	15,234	13,417					
前年比	28.3%	23.9%	2.7%	-6.2%	0.2%					
売上総利益	3,752	4,073	3,766	5,226	4,118					
前年比	33.3%	35.8%	-2.2%	-4.8%	9.7%					
売上総利益率	28.0%	29.7%	29.0%	34.3%	30.7%					
販管費	3,419	3,420	3,554	3,837	3,500					
前年比	41.7%	43.3%	9.8%	-7.2%	2.4%					
売上高販管費比率	25.5%	25.0%	27.4%	25.2%	26.1%					
営業利益	333	653	212	1,389	617					
前年比	-17.0%	6.7%	-65.5%	2.7%	85.3%					
営業利益率	2.5%	4.8%	1.6%	9.1%	4.6%					
経常利益	286	623	205	1,367	587					
前年比	66.1%	10.7%	-63.4%	7.2%	105.1%					
経常利益率	2.1%	4.5%	1.6%	9.0%	4.4%					
当期利益	-181	-1	-57	-381	219					
前年比	-	-	-	-	-					
当期利益率	-	-	-	-	1.6%					

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

2021年4月期第1四半期実績

- ▷ 売上高：13,417百万円（前年同期比0.2%増）
- ▷ 営業利益：617百万円（同85.3%増）
- ▷ 経常利益：587百万円（同105.1%増）
- ▷ 親会社株主に帰属する四半期純利益：219百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失181百万円）

当第1四半期は前年同期比で増収増益となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、テレワーク需要が高まったことで同社グループの通信インフラサービスの需要が増加した。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりである。

インフラテック事業

- ▷ 売上高：4,039百万円（前年同期比3.9%増）

- ▷ セグメント利益：272百万円（同104.4%増）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う自宅学習やテレワークの普及に伴い、宅内Wi-Fi環境を通じたオンライン授業や会議、ネット動画視聴、ゲームをはじめとしたリッチコンテンツやSNSの利用の増加等により、固定回線網サービスの原価率は引き続き高い。ただし、テレワーク利用が急速に広まったことに伴い、MVNO支援パッケージサービスをはじめとした通信インフラサービスの需要増により、売上高は増加し、利益は倍増した。

不動産テック事業

- ▷ 売上高：3,438百万円（前年同期比11.0%増）
- ▷ セグメント利益：307百万円（同1.1%増）

集合住宅向けインターネット接続サービスの順調な拡大により増収増益となった。また、今後の拡大に向けた“不動産Tech”分野への投資や回線品質の向上を図った。

アドテック事業

- ▷ 売上高：3,999百万円（前年同期比9.9%減）
- ▷ セグメント利益：121百万円（同33.7%減）

インフルエンサー事業の拡大に注力するとともにアドテクノロジー関連サービスであるDSP広告や動画広告市場向けの商材を中心としたインターネット広告サービスの提供に注力した。また、アフィリエイトサービスにおいては、海外展開および新規事業にも積極的に取り組み、収益基盤の拡大を進めた。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、来店誘導型広告サービスをはじめとする広告事業の売上および利益がともに減少した。

ヘルステック事業

- ▷ 売上高：1,165百万円（前年同期比59.7%増）
- ▷ セグメント利益：130百万円（前年同期は137百万円のセグメント損失）

2016年のヘルステック事業開始以降、事業全体としては赤字が続いていたが、フリービットEPARKヘルスケアでのお薬手帳アプリ利用者や薬局向けソリューションサービス利用事業者の獲得等により、事業規模が引き続き伸長したことに加え、不採算事業の整理による利益改善があった。その結果、売上高が前年同期比で増加し、セグメント利益が黒字化した。

エドテック事業（前期第3四半期に新設）

- ▷ 売上高：908百万円（前年同期比33.3%減）
- ▷ セグメント損失：216百万円（前年同期は156百万円のセグメント損失）

当事業を担うアルクは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、講師派遣型語学研修事業や留学関連事業のサービス停止により大幅に収益が減少した。また、緊急事態宣言下における書店の閉店等に伴い、書籍の収益も減少した。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレマー

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp